

1. この会社が目指す姿が理解できるか

2 ページ目に、業界のリーディングカンパニーとして、「未来へつなぐ」人材と技術を通じて、**持続的な成長と社会課題の解決を目指します。**と書いてあるところから、長期的に成長を続け、社会的にも貢献していこうという意味が見て取れる。また、リーディングカンパニーとは一定の業界で主導的な地位にある企業という意味だから、橋梁や鉄骨などの鋼構造物の製作と施工を担う会社としてのプライドを持っていることが伝わってくる。実際に、橋梁事業においては、長年、受注量と生産・施工量において No.1 の地位にあり、橋梁の次の基幹事業になるエンジニアリングにおいても、横川システム建築が業界 No.1 のシェアを誇っている。1907 年創業（当時は前身の「横河橋梁製作所」）の歴史ある企業だが最先端の技術を導入してさらなる成長を狙う。例えば、国土交通省や日本橋梁建設協会が推進している「i-Bridge」の対応として、ICT 活用のためのシステム開発を積極的に行っているという。i-Bridge とは設計・施工計画段階で 3D 設計を用いて、数量を自動で算出したり、検査段階で 3D レーザースキャナを用いて出来形検査を行ったりと、かつては人力、手動で行われていた作業を、現代の科学技術を生かして、効率的に行い、生産性・安全性を向上させていこうという取り組みである。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

橋梁事業で古くから活躍しており、積み重ねられたノウハウは他社にはない強みといえる。さらに、横河ブリッジホールディングスはグループ経営を行っているため、各事業会社の特徴を活かし、経営資源を補完・融通し合うことができる。また、当社グループが得意とする橋梁工事は、1,000 メートル級の橋でもミリ単位の精度が求められる緻密なもので、こうした鋼構造の製造技術が精密機器製造事業において活かされ、半導体製造装置のフレーム生産で求められるミクロン単位、ナノ単位の精度にも比較的容易に対応することができた。そのため、競争優位性はあると思う。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

事業戦略の三本の柱になっている橋梁事業とエンジニアリング関連事業、先端技術事業のシナジーは高く、後者二つは科学技術の発展とともにこれまで以上のスピードで成長することが考えられる。また、橋梁事業や土木関連事業は経済状況の影響を受けにくい反面、政策による影響を受けやすいという特徴があり、一方で、システム建築事業は、景気に影響されやすいことがリスクとなっている。ただ、横河ブリッジホールディングスは橋梁事業と土木関連事業およびシステム建築事業で相互に補完し合うことができるため、競争優位性を維持したままのさらなる成長が見込める。大地震や市街地が冠水するような水害も近年多発しており、こうした自然災害に強いインフラの整備が急務となっており、こうした社会情勢を受け、既存施設の保全事業が右肩上がり増加している。特に高速道路の大規模更新・大規模修繕に代表される事業が今後も継続していく見込みだそう。さらに、海外についても、新興国の経済発展とともに橋梁建設のニーズが高まっている。こうした理由から、競争優位性の維持のための仕事の数自体にも問題はないと考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

6 ページの記載から横河ブリッジホールディングスは社員の育成にも力を入れているように思える。先人たちから受け継いだ技術を研鑽し、次世代へ伝えるために、技能・知識向上を目指した社員教育を積極的に推進しているということで、古くから伝わるノウハウを引き継いでいく仕組みが確立されており、社員は自身の経験とこうした知識を組み合わせることで効率的に成長していくと考えられる。加えて、統合報告書内で社会貢献について盛んに言及されているため、この企業に就職すれば、日本全体の社会問題や地域ごとの問題にも理解が深まり、精力的に解決へと行動できるようになるかもしれない。また、現場見学会、インターンシップ、学内セミナーを活用した採用広報活動の推進、ジョブローテーションによる人材育成、資格取得推進のような会社からの手厚い支援があるため自身のスキルアップの場には事欠かない。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

企業の経営理念や方針、そして具体的な事業内容や社会、環境問題に対する取り組みが明快に書かれていた。しいて改善点を上げるとすれば、建設場所になった地域の人とのつながりについて書かれている場所があったり、社員を大切にしていることを強調したりしていたから、地域の声や取締役以外の社員の顔やインタビューのような、より人間が会社を動かしているんだということを前面に押し出した内容にすると企業全体として暖かいイメージになって好印象になると思った。

